

## 上下流交流会(滝沢ダム)を開催しました！！

荒川ダム総合管理所では、水源地域ビジョン活動の一環として「NPO法人森」と協同して上下流交流会を行いました。この交流会は、平成26年度の「水の日」・「水の週間」上下流交流事業の助成を受けて、「NPO法人水のフォーラム」と連携して初めて実施したものです。

当日は、ダムができる前の様子が一目でわかる写真やダム模型等が展示されている建設当時の骨材プラント跡地に整備された「レイクビューハウス」に集合し、開会式を行いました。



開会式の様子



参加された皆さん

その後、滝沢ダム左岸の滝の沢園地を散策し、昼食は大滝婦人会の皆様の手作りによる地元の料理を振る舞って頂きました。滝の沢園地は、移転された滝の沢集落の跡地を散策できるように整備したところで、今後、植樹や下草刈り等の作業を通じた上下流交流の拠点として考えています。参加された皆さんは、自然豊かな園地を気持ちよさそうに散策されていました。



滝の沢園地を散策(おいしい空気を満喫)

その後、昼食場所である大滝公民館に移動し、地元の野菜を使った冷やし汁や鹿肉の燻製等、婦人会の皆様の手作りによる食事を堪能しました。参加された皆さんも初めて味わう大滝の食材に感激され、冷やし汁や焼きおにぎりのおかわりをされてる方もいらっしゃいました。地元食を通じて冗談も飛び交うなど有意義な交流が図れたようでした。

昼食後は滝沢ダム視察を行いました。滝沢ダム管理所の会議室において概要説明を行った後、選択取水設備やゲート室の中に入って実際に施設を見て頂きました。普段見られない施設を前にして、熱心に機構職員の説明に耳を傾けていらっしゃいました。



監査廊の中で見学(涼しいね)



大滝婦人会の皆さんとパチリ

最後に、ダムとループ橋をバックに記念撮影を行い上下流交流会を終了しました。参加された皆さんからは、「非常に良かった」、「水源地域の悩みを理解すると同時に水源地域への感謝の気持ちを新たにしたい」といった声をお聞きました。

荒川ダム総合管理所では、今後も水源地域ビジョンのメインの活動として上下流交流に積極的に取り組んで参ります。



滝沢ダムをバックに記念撮影



雷電廿六木橋(ループ橋)をバックにハイチーズ